

# 週報 第3144回

会長 植村 勢彦 副会長 原 正人  
幹事 渡辺 万寿 SAA 西田 佳郎

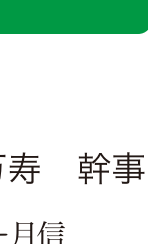
例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津  
TEL.0725-20-1121  
Eメール info@izumiotsu-rc.org  
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F  
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501

メールアドレス info@izumiotsu-rc.org  
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



泉大津ロータークラブ  
IZUMIOTSU ROTARY CLUB



## 今週の例会(2022年1月14日)

### ■ プログラム

クラブアッセンブリー  
各奉仕部門担当理事

### ■ 次週のプログラム

1月21日:卓話担当 白谷 喜世彦 会員

### ■ 今後の予定

- ・1月28日:新年特別卓話  
泉大津市長 南出 賢一 様
- ・2月4日:クラブフォーラム  
泉谷 仁博 国際奉仕部門担当理事

### ■ 祝 誕生日

櫻井 善章(16日)

### ■ 今月のロータリーソング

それこそロータリー

## 今月の歌

たき火

垣根の垣根の 曲がり角  
たき火だたき火だ 落ち葉たき  
あたろうか あたろうよ  
北風びいぶう 吹いている

### ■ 先週の例会

#### 幹事報告

渡辺 万寿 幹事

○2640地区ホームページより、ガバナー月信  
2022年1月号をご覧下さい。20ページに2021-2022国際ロータリー2640地区 地区大会の御案内がでております。詳しいこと事務局の方にございますので必要な方はお申し出下さい  
○本日例会終了後、第7回理事役委員会を開催致しますので、関係者の方はみみやびの間にご集集お願い申し上げます

#### 委員会報告

本日メールボックスに、ロータリーの友1月号を入れてさせて頂いております。横組み14ページから17ページに渡りまして、2022年国際大会に参加するべき7つの理由という記事が載っております (山本 博章 会長・IT委員長)

### ■ ビジター

なし

## IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3144回

### ■ 出席報告 会員数43名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
1/7	29名	14名	—	67.44%
12/19	34名	9名	2名	88.72%

### ■ メークアップ

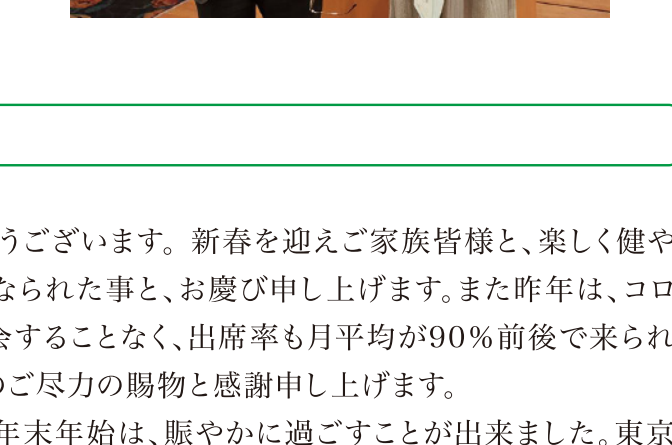
榎本(12/27 ワールド大阪ロータリーEクラブ)  
川上(12/10 親睦活動委員会)

### ■ ニコニコ箱

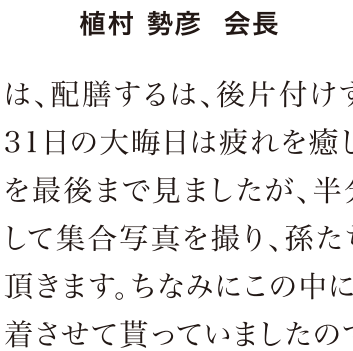
- ・新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします(植村)
- ・明けましておめでとうでございます。今年も明るく楽しい元気な植村年度をお引き立を賜りますよう宜しくお願い申し上げます(渡辺)
- ・新年明けましておめでとうございます。植村会長、後ほど新年ごあいさつよろしくお祈りします(西田)

### ■ ローターリー米山記念奨学会

釜野 典子  
ロータリー米山記念奨学会より  
第3回 米山功労者マルチプル表彰されました



## 先週のプログラム 「新年会長挨拶」



植村 勢彦 会長

新年あけましておめでとうございます。新春を迎えご家族皆様と、楽しく健やかなお正月をお過ごしになられた事と、お慶び申し上げます。また昨年は、コロナ禍でも一度も例会を休会することなく、出席率も月平均が90%前後で来られたのも、ひとえに皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

お陰様で我が家が今年の年末年始は、賑やかに過ごすことが出来ました。東京の娘の幼稚園組の孫たちは、12月23日に帰省して来ました。それから次男の孫たちが28日に帰省して来ました。30日には毎年恒例の忘年会をします。いつもは外食なのですが、今年は家で敬老の日です。大人8人・孫6人での料理14人で、てんやわんやで家の中がお祭り騒ぎです。大人数ですので料理を作るのは、配膳するは、後片付けするは寝具の用意もしくはなりませんし、我が家は旅館状態になっていました。31日の大晦日は疲れたを癒して静かに過ごし、夕食は1年の労をねぎらい乾杯です。久しぶり家内と紅白歌合戦を最後まで見ましたが、半分くらいは知らないアーティストでした。そして元旦は毎年8時すぎに新年の挨拶をして集合写真を撮り、孫たちにお年玉を渡すと、今度は新年を祝って乾杯です。みんなと一緒におせち料理を頂きます。ちなみにこの中には居られるかも知れませんが、私は小さい頃から元旦には、下着から服まで新品を着させて貰っていたので、今でも新品を着ます。3.4年前までは、ずっと元旦は朝一番にお風呂に入って、神聖な気持ちで新年の挨拶をしていました。しかし孫も入りたいたいと言うので、家族から風邪をひくからと、言われて辞めています。昭和育ちの名残かも知れませんが、「一年の計は元旦にあり」です。

その後本家・家内の実家に挨拶に行き、また義弟達と酒盛りです。そして2-3-4と2泊3日で30数年以上、

白浜温泉へ行くのが恒例行事になっております。ホテルに着くなり孫たちは温水プールに入り、その後一緒にのんびりと温泉で体を温めて疲れを癒します。2日の夕食時には和食が中華によって、日本酒が紹興酒を息子達と1.2本は開けます。3日は各自自由行動で、アドベンチャーワールドに行ったり、水族館やビーチ周辺で遊んだりです。私と家内は天気も良く初打ちでゴルフに行っていました。とても暖かく途中でセーターを脱いだくらいです。さすがに3日の夜は疲れが出てきて、お酒もさほど進みません。4日には白浜空港から次男の家族が東京へ帰って行きました。帰った後は家内とやれやれと思いました。そして家路に着くのですが、皆さん知っていますか、阪和道がほぼ全線2車線に開通していますので、普通の日でしたら泉大津から白浜まで、1時間半はかかりません。30年位前でしたら、皆さんも覚えていると思いますが、海南辺りから42号線が湯浅を通り水越峠を越えて、御坊から田辺市を通過して白浜までは、正月には最高で5時間位かかったのを覚えています。今では阪和道がほとんど延びて、今では南紀田辺まで延伸しだしています。2025年には山本まで延伸します。近い将来、新宮まで延伸し紀勢自動車道で伊勢まで一本で行けます。この阪和道とバイパスの事を、和歌山の地元では【二階道路】と言います。2015年に和歌山国体が開催されるのにあたり、天皇皇后両陛下が開会式に来られるのに、交通アクセスが悪すぎるという事で、自民党の重鎮の二階さんが、和歌山県に予算を付けて、急ピッチでバイパスを開通させたのです。今年の正月は行も帰も2時間半は掛からず、帰りは1時間半でイスイス、帰すまで行きます。【但し覆面パトカーが多いのでスピードには、気を付けて下さい。ヒヤッとしました。】しかし今後の事を考えますと、便利になったのは良いのですが近い将来、白浜温泉も通過点に成らないか、地元の人達は心配だそうです。今でもJR白浜駅周辺以前は、お土産屋さんも4-5軒有り賑やかでしたが、今では2軒だけ辛うじて営業しています。食堂やレストラン、喫茶店なんかもありましたが、今ではすっかり無くなっています。昔は高速道路の無いころは、国道沿いの湯浅醤油蔵の店に寄って、醤油や味噌をお土産に買ったり、

みなべ町・田辺市辺りで梅干しやミカン・一夜干しを買ったり、風情を楽しむ事が出来ましたが、今は便利すぎて何時でも何処でも買えますし、ネットでも買える様になりました。高速道路が出来て便利には成りましたが、景色がドンドン変わって行った様に思えます。今後地元の人たちの不安がどう展開するか見守りたいです。

さてロータリークラブのお話をさせていただきます。私は早い段階から渡辺幹事と西田SAAにお声を掛けてさせて頂きました。2人とも快諾を頂き感謝しております。そして相談役として、会長経験者の原副会長にも直ぐにお声を掛けて頂きました。こちらも快諾を頂き感謝しております。渡辺幹事は、私がエレクトの早い段階から年間プログラムや組織表、そして予算案のたたきまで作成して頂いています。私は「ええ〜もうここまで出来たと驚きました。理事会資料や理事会議事録もきめ細かく書くものですか、ここまで細かく書かなくて良いのに」と言っても「今後の為、参考になれば良いの」と言います。また定款や細則も熟読され本方に頭が下がります。西田SAAは見ての通り真面目な方で、毎週月曜日の朝に成れば、メールで今週の例会進行マニュアルを送って来ます。それを見て会長の時間原稿を調整します。その他3者メールで連絡事項をやり取りしたりするので、本当に助かります。

私はchallenge to change(変化への挑戦)と心に決めて、まず理事会の若返りを模索してみようと思いました。入会して10年未満の会員で、理事経験の無い方も居られますが、ロータリーには価値を見出す機会、リーダーシップを得る機会が御座います。初めて担当する奉仕部門や、理事会での審議事項の提出の仕方など、経験することで行きます。先ずは委員会を開催することです。色んな業種の会員が居りますので、専門的な知識も得られますし良い勉強になります。

特に親睦活動委員会は毎月一回のペースで委員会を開催しています。一番忙しい委員会です。決め事も多いです。緊急連絡先の担当・例会の設営方法・最終例会・納涼例会・クリスマス家族例会・春の家族例会等々、特にクリスマス家族例会の場所を、7月中に決めなくては予約が取れません。昨年の日航ホテルはコロナ禍でしたので、運よく取れました

## IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3144回

が、ここが委員会の皆さんの腕の見せ所です。今年初めての試みで、機会の扉を開く場所として、毎月の席替えも願っていますので、仕事量が増えますが本当に頑張ってください。会報IT委員会も週報用の写真や、ハイブリット例会の設営にも尽力して頂いております。会員増強はロータリーの重鎮が集まっていますので、計画的な情報収集をして頂いております。会員増強はクラブ全体で、取り組まなくては成らない委員会です。但し一言でも過言ではないと思います。そして念願の家庭集会も実施して頂いております。ロータリーは「親睦と奉仕の実践にある」と言われています。そのコミュニティーが大事だと思います。職業奉仕はロータリークラブの本質的な、基本中の基本の委員会だと思います。【I serve】12月に根尾さんが、素晴らしいクラブフォーラムをして頂いております。その時の皆さんの、ご意見も含めて後程お話しさせて頂きます。社会奉仕委員会は、年2回の献血事業も定着しつつあります。その他美化運動や認知症サポーター育成への協力もされています。昔から職業奉仕と社会奉仕は紙一重とも言われています。そして国際奉仕部門の3委員会を合同委員会で、意見交換する体制には驚きました。ロータリー財団のグローバル奨学生の岸田君の申請や、グローバル補助金活用(DDF)などの意見交換は、私も経験がありませんでした。米山奨学金の過去と現在、グローバル基金の内容等とても勉強になります。私自身これからは各委員会に参加して行き、勉強したいと思っております。【一生勉強・一生青春】です。

私が昨年の5月のフォーラムで、ロータリー存在価値についてお話しさせて頂きました。高潔な心を持つ人の、コミュニティーにおける友情と人脈作りであります。このために、その期待にふさわしい組織づくりを、4つのテストに基づいて「今の時代にあり」組織づくりが大切だと言われています。ロータリーは「自身の職業の倫理基準を高め、経営を健全化し社会に貢献する」とされています。そしてロータリーはアイ・サーブですので、クラブでの継続的な事業は行わないと聞かれています。でも他地区大会やPETSに参加し気付いていたのですが、他地区のクラブは色々な継続的な事業をされています。私は入会して14年になりますが、毎年変わる自分の、所属している委

員会の事しか分からず、他の委員会の事は分かりません。所属している委員会も、何の活動をしているのか分からない時期もありました。ただ例会に参加して親睦を図る程度のメリハリの無い時を、過ごした時期も有りました。今思えば充電期間なのかもしれません。

そんな思いで今年度は先程も言いましたが、リーダーを育めるために、理事の若返り、機会の扉を開くために毎月の席替えに、各委員会の活性化、理事会での審議事項の報告等、出来るだけ早く皆さんに周知して頂く様に思いました。

例えば災害の義捐金の報告(予定で知らない方も居られます)・各委員会事業の予定などの報告。そして12月の理事会においても、パソコンでビジターフィを10年以上使っている)で新品の購入とか、講師の外部委託で公人・地区関係以外の民間企業の場合は、来期から依頼者にニコニコでビジターフィを負担して頂く等、良い事も決めた事でも先送りにせず、スピードに解決していく事で進行がスムーズに行くと思えます。

今月は職業奉仕月間です。12月の職業奉仕のクラブフォーラムの時に、「クラブで行う職業奉仕」・「自ら行う職業奉仕」皆さんからの実直なご意見を読ませて頂きました。職業奉仕と社会奉仕は紙一重とよく言われます。そこでどちらにも関係があると思えますが、【ロータリークラブに何が出来るかを模索し、変化を恐れずにチャレンジしていきたい】

そこで私は、以前からコロンバッド例会が予算のしかり、泉大津市内の貧困対策として広がっている「こども食堂」のように、【人とのつながりで心の安らぎを感じられるような】子供の居場所を提供しているそうです。泉大津市内に10か所あります。私は昨年早くから、実際に「こども食堂」をされている八木秀香バスト会長に、もし出来るとしたらどんな支援が出来ますか?とお聞きしていました。すると支援のリストと意見まで文章にして頂きました。そこには衛生材料・食料・おもちゃ・遊具等、細かくリストアップして頂きました。金額的にも良いのですが、あくまでロータリーとして、金銭的にかかれないのが、理事会で図らなければならないし、また何所の委員会が窓口になるのかも決めなくてはなりません。過去に事業

と言うものは、周年の時にしか行っていません。継続的な事業は殆ど無く、してはいけないかの様に成っていました。泉大津ロータリークラブのホームページのPR材料も乏しく、アクションを起こしてはどうかとも思いますが、組織ですから単独では動きません。でもこう言う議論も大事ではないかと思えます。単年度制なので、なかなか継続的な議論が出来ませんが、提案して行き活性化して行かなければ、マンネリ化して行き、消化するだけの組織になるかも知れません。12月の理事会でもDDFを活用するとしたら、国際的な事業は理屈でDDFを活用するの事業は通りくいけど、チャレンジするのならどんな事業を展開するのかなど南出エレクトも、するかしないかも4月までに決めなくては、エントリー出来ないのでは、この理事会で決めなくてはなりません。最近では若い会員も増えていますので、アクションを起こして行くのもどうかと思えます。

ロータリーは倫理運動であると言われます。「たばこの吸い殻を拾うのではなく、捨てない人間を作る」とか、「社会奉仕活動は、ロータリークラブの会員に奉仕の訓練を施すために考えられたいわば研究室の実験としてのみみるべきである」と記されています。奉仕の目的ではなく手段であると考えべきであります。ロータリーの本質とは何か「それは人作り」です。ロータリーは単なる奉仕団体・寄付団体・慈善団体ではないと言われるのがここにあります。

奉仕するには、目標を決めて計画的に行動をします。私は若いころには、よく行動を起こす時には、心の中で唱えていた言葉がありました。

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、故に夢なき者に成功なし」皆さんもよく知っていますが、この言葉は吉田松陰の名言の一つです。私も若い頃はよく夢を見ましたが、最近は寝ている時に、怖い夢しか見ない様になりました。

最後になりますが、オミクロン株による第6波も念頭に置いて、これから残された半年間ですが、皆さんと一緒に有意義なロータリーライフを過ごしたいと思えます。どうか最後までご協力の程、宜しくお願いします。

## IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3144回

### ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。  
具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリーメンバー一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

### 四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか